

音更町地球温暖化対策実行計画の取組結果について

(平成30年度実績)

町では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、音更町地球温暖化対策実行計画を平成20年3月に策定し、公共施設などから排出される温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

計画では、町が所有し管理する全ての公共施設と町が行う全ての事務・事業を対象として、温室効果ガス排出量削減の取り組みを行い、地球温暖化対策を推進するものです。この計画の概要及び平成30年度の取組結果は次のとおりです。

1 計画の概要について

(1) 計画期間

平成30年度から令和4年度までの5年間（第3次計画）

※第1次計画は平成20年度から平成24年度までの5年間

※第2次計画は平成25年度から平成29年度までの5年間

(2) 対象とする温室効果ガス

二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン

(3) 温室効果ガス排出量（基準年度）

10,269,094 kg（平成25年度）

(4) 温室効果ガスの削減目標

平成25年度排出量の22%（2,259,201 kg）の削減

(5) 具体的な取組

公用車の運行、暖房の温度設定、電気の節電等、各項目について職員全員で削減に取り組んでいます。

2 平成30年度取組結果

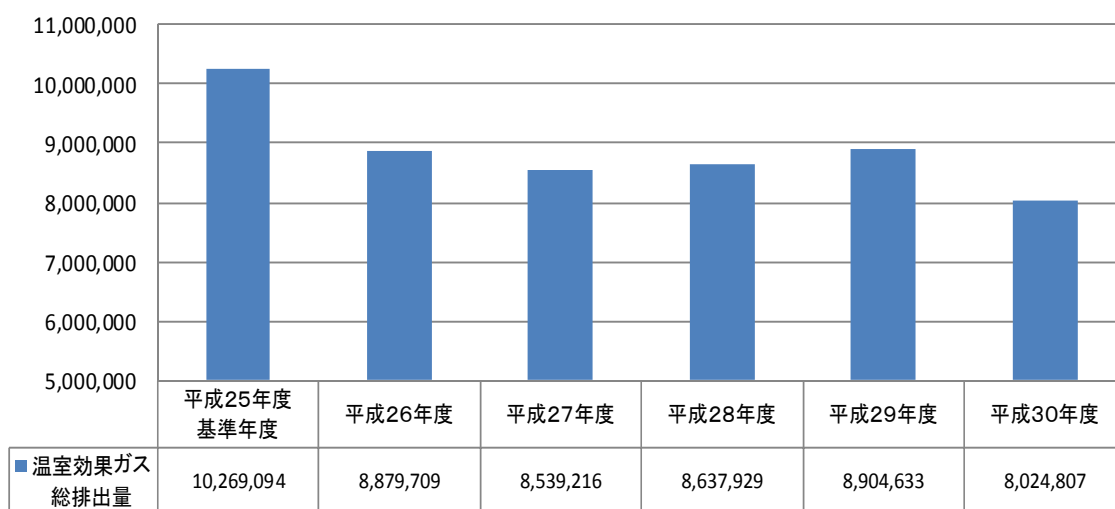
(1) 温室効果ガス排出量

平成30年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度である平成25年度と比較して、21.85%の削減となりました。温室効果ガス総排出量のうち99.85%を占めている二酸化炭素の排出量は、基準年度と比較して21.90%の削減となりました。

【温室効果ガス排出量】

(排出量単位: kg-CO₂)

温室効果ガスの種類	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	増減(%)	平成30年度の 目標削減率
二酸化炭素 (CO ₂)	10,260,394	8,013,098	△ 21.90	H30比 22%削減
メタン (CH ₄)	1,865	1,943	4.18	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	5,158	8,493	64.66	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	1,677	1,273	△ 24.09	
総排出量 (kg-CO ₂)	10,269,094	8,024,807	△ 21.85	



(2) 燃料別の使用量・二酸化炭素排出量

燃料別の二酸化炭素排出量では、電気が総排出量の51.1%、A重油が36.2%であり、この2項目で総排出量の約9割を占めています。燃料別の使用量では、基準年度と比べて軽油、灯油で増加しましたが、ガソリン、A重油、液化石油ガス、電気は減少となりました。

【燃料別の使用量・二酸化炭素排出量】

燃料の種類	平成25年度(基準年度)		平成30年度			比較	
	使用量	排出量	使用量	排出量	割合(%)	H25対比使用量 増減(%)	H25対比排出量 増減(%)
ガソリン (ℓ)	47,453	110,091	45,588	105,763	1.32	△ 3.93	△ 3.93
軽油 (ℓ)	16,341	42,160	18,271	47,138	0.59	11.81	11.81
A重油 (ℓ)	1,292,629	3,503,024	1,069,020	2,897,044	36.15	△ 17.30	△ 17.30
灯油 (ℓ)	225,751	636,820	308,772	768,843	9.59	36.78	20.73
液化石油ガス (m ³)	19,256	57,168	16,658	99,549	1.24	△ 13.49	74.13
電気 (kWh)	8,591,760	5,911,131	7,328,747	4,094,761	51.10	△ 14.70	△ 30.73
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)		10,260,394		8,013,098			